

## 第7回 小学校再編に関する地域住民説明会（立江小学校区） 概要

- 日 時 : 平成30年8月2日（火） 19時開始
- 場 所 : 立江小学校 3階 図書室
- 参 加 者 : 19名
- 教育委員会 : 吉岡教育長 他8名  
(事務局)
- 内 容 : 1. 開 会  
2. 教育長あいさつ  
3. 教育委員会職員紹介  
4. 配布資料確認  
5. 説 明  
① 小学校再編に向けて  
② 小松島市立学校再編基本計画（案）  
③ 学校施設の利活用  
6. 質疑・応答（意見交換）  
7. 閉 会

### 地域・保護者等から出された主な意見と回答

○何人を下回ると複式学級になるのか。

→（回答）

「二の学年の児童で編成する学級」として「16人」と書いているが、一般的には、小学校においては、二つの学年を合わせて16人以下になる。ただし、「1年生については8人以下」というのがこの前の表（スクリーン）に書いている「小学校の学級編成基準」で、あくまでも下の米印にもあるように、国が法律で決めている一つの基準になる。16人、ただし1年生については8人、というのが今の国の基準になる。

○この小学校再編について各小学校の高学年の子とかに説明したか。

→（回答）

学校の子どもさんについては、こういった説明はしていない。

○私も小松島市の小学校出身で、主人も小松島市の小学校出身で、この度、中学校が合併したことでたまたま同じ中学校が合併したが、やはり思い出を語るに当たって伝統を大事にしていくすごく良い機会にもなった。次また小さい子ができるとまた話は違うが、多分、一番関係してくるのが今の小学校に通っている子どもたちの子どもだと思う。良い機会だと

思うのでこういった話をちょっと子ども向けにして、この学校づくりに何か意見をもらう何かをしていただけたらと思う。

○人数が少なくなっていくが、一応、10年後までにするような感じなのか。それより早まるとかいうことはあるのか。

→ (回答)

一発に再編という話にはなかなかならない。ただ、いずれ何校に再編するにしてもその中で詳細の計画というのは実施計画で置いていきたいなということで、現時点では、2030年度の完了を目指すという大枠だけということで、御理解いただきたいと思う。

○大体、目安として、どの辺の地域を集めて「3校」と計画されているのか。

→ (回答)

今現状で、どことどこが合併してどこを想定するのかといったことは、今の段階ではまだ具体には決まっていない。御意見をいただいて、最終的にはそういった御意見を踏まえて「実施計画で」と考えているので、学校の数については、今現在は「3校程度」という形の表記にこの案の中ではさせていただいている。

○3校にするにせよ、色んな案があるにせよ、莫大なお金がかかるがそれは大丈夫か。それによって市の税金とかがどんどん上がっていくと、どんどん小松島から(人が)いなくなるという、悪い方に転がっていかないようにしてくれないと、ずっと(小松島に)いるつもりでいる身としては困る。どのくらいの費用がかかって、どうするのが一番良いのかをまた考えていただけたらすごく有難いと思う。

→ (回答)

やはり学校再編、特に南中学校の例で申し上げると、南中学校の場合では30億円というお金がかかっている。ただし、国の補助金なりをいただいてというところもある。ただ、30億というお金は莫大で、補助金ばかりでないのも現実。その中では当然税金も当たっているというところで、小学校を再編するに当たって、具体的にどういったものを作るかによって金は変わってくるが、やはりそのくらいのお金が事業としては当然必要になると。でも今市内でいろんな事業をやっている。そういった市内の大きな事業との兼ね合いの中で建設の時期とかを合わせて考えていかないといけないというのが現状で、そういったことにも配慮しながら進めていきたいと考えている。

○2点お聞きしたいが、「学校再編の必要性」で児童数が減少することで「良好な教育環境を維持できない」ことについて詳しく説明をしていただきたいのと、もう一つ、立江小学校は指定避難箇所になっているけど、再編とこの両方の機能は継続されるのかどうか。教育委員会の問題ではないかも分からないが、それをどうお考えなのか今の段階でお聞きして

おきたいと思う。

→ (回答)

まず1点目の「良好な教育環境」というお話になる。基本的には、多様な人々をつながりながら学ぶ力が必要で、いわゆる、「コミュニケーション能力」について将来2030年の世の中として想定される社会においては、子どもさんが「人」「地域」「社会」と色んな関りを持つことで新たな創造性や価値を生み出していくことにもつながってくる。これからの世の中を見据えた中で、集団での学びの機能というのは、「共感」とか「自信」とか、やはり人数が少ないよりは多い方で議論や意見交換をする方が子どもたちの「成長」にとっても良いのではないかと。学びを深くできるのではないかと。こういったことで、規模が大きい方が多くの子どもさんを通じていろんな経験ができるのではないかとということで、私ども教育委員会が目指していきたいというところがまず1点。

2点目は「施設」のお話だったと思う。おっしゃるように、学校施設は特に建物を含めて市内の防災上の一時避難施設になっている。校舎は老朽化しているが、そういった地域的な事情・状況も多分いろいろと出てくると思うが、そういった状況も踏まえてやはり利活用というのは考えていかなければいけないのかなど。先ほど担当からの説明でも、校舎についてもそういったいろんなことを考えながらいかなければならないと申し上げているので、詳細は「これから」ということになろうかと思う。

○質問が悪かったかも分からないが、「良好な教育環境を維持できない理由」をお聞きしたい。

→ (回答)

クラスも少ないし子どもさんも少なく、これからどんどん減っていくことが想定される中で、あくまでも適正規模として基本方針で目指すところは、「18人以上で2クラス」ということで、極端な話、18人で2クラスと言うと36人になるので、ある意味、同級生が多い方がそういった良好な教育環境が保てるのではないかとということで、こういった案をお示しさせていただいている。

○例えば、人数が多い方がいじめは少ないとか、そういうのは合理的な説明ができるのか。

→ (回答)

具体・客観的にはなかなか(説明)できない。先ほどの説明にあったが、もし仮に学校でいじめが発生した時にクラス替えによって新たなスタートを切れる。もしそういうことにこれらなっても、学年2クラスになればそういう対処ができるということ。当然おっしゃるように、複数だったら「これは絶対こうなるんだ」というようなことは、明確にはなかなか申し上げことはできないが、あくまでも課題に対してはクリアすることができるということで、それをもって良好なというか、新たな教育環境を提供することができる方法として、「良好な教育環境」ということでお示しさせていただいている。

○多ければいい面もあるかも分からないが、私が小学校にいた時も人数が多かったためにクラスで大人しくて目立たない子どもは、同じ学年でも「そんな子おったっけ？」っていうのがあった。小さいいじめがあったりしても、先生も気が付かないでそのまま我慢して過ごしてしまうようなこともたくさんあった。少人数では、コミュニケーション能力は多い人数に比べると弱いかもしれないが、少人数の学校には少人数の良さがあるので、そういうところは大切に思っていて、「多い方がいい」という意見だけではないということを知っていただけたらと思う。

○前の人も言った「良好な教育」は、それはやはり人数だけではない。やはり、教育環境であったり、地域との結びつきであったり、それから地域のバックアップであったり、そういうものが良好な教育環境を作っていくのだと思う。人口面の致し方のない面もあるだろうが、教育委員会にこれを言っても仕方がないけど、将来的に小松島市も人口が増えていくような施策等を通して子どもの数が増えていく、いわゆる、「子育て世代」が増えていく。小松島市全体がそういう環境を作っていくこともまた大切なことだろうと思う。そこら辺も市全体で考えていくことが大切なのかなと思う。

○前の資料に「クラス替えができない・・・課題」とあるが、いじめがあった場合、クラス替えをして課題を解決しているのが今なのか。

→ (回答)

前のその資料については、あくまでも今現状のことではなく、「こういうことができる」ということ。いじめがあった時の対処方法は学校現場でもいろいろあると思うが、少なくとも1クラスだった場合については、クラス替えができないという話が当然もともとあると思うが、複数クラスの場合はこういったことが可能であるとか、そういったことで御理解をいただきたいと思う。

○「選択肢」というだけですね。先ほどから人数のことを皆さんおっしゃっているのは、ここが立江小学校で1クラス20人以下のクラスばかりだから。おそらく、今何も問題がなくて、嫌な友達がいたとしてもちゃんと話し合いでの解決をずっと多分しているから、すごく今で大満足。でも、市の事を考えると、先生の数や専門の先生から教えてもらえるメリットを考えているので、ちゃんと理解して協力していきたいなという姿勢で多分来ているのだと思う。

クラス替えの選択肢は、それを重きに置いて欲しくないのと言わせていただいた。多人数になってもしっかりと一人ずつ見ることができ、先生の育成に頑張ってもらいたいと思う。

→ (回答)

先ほどいじめの話があったが、クラス替えをして解決をしようということではない。やは

りそれではいじめの根本の解決にはならない。それはもっと違う話であって、でもいろんなグループ集団を考えていくと、クラス替えによって少し離れることによって少し友達関係がまた変わったりして、それが解決につながることもあるし、一つのきっかけということでお考えいただければなと思う。